

PLANA
サンスクリット語で
命・息吹・息づかいの意味



まちゼミで講師をされた古内郁夫さん、順子さんご夫妻

■ 山形市初「まちゼミ」開催! ▶ 2-3
■ 輝く男女の「ものづくり」
ニットクリエイター 柁瀬真さん ▶ 4
美術工芸人形作家 大滝博子さん ▶ 5

■ デートDVとは? ▶ 6-7
■ information ▶ 8

11月12日~25日は女性に対する暴力をなくす運動週間です。

11月25日が「女性に対する暴力撤廃国際日」であることから、毎年11月12日~25日の2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」期間として、全国各地で様々な取り組みが行われています。

全国のお取り組み (平成25年度)

- ・東京タワーを含む22の施設でパープル・ライトアップを実施
- ・講演会、研修会の実施
- ・リーフレット等による予防啓発運動 など



山形市が昨年度実施したパープルリボンのツリー
内閣府HPより

「3人に1人」
「10人に1人」
「20人に1人」

この数字が何を表しているかご存知ですか?

これは平成23年に行われた内閣府の調査(「男女間における暴力に関する調査」)で表れた数字です。

女性の3人に1人は配偶者からの暴力を経験し、10人に1人が度重なる暴力の被害を受け、20人に1人は命の危険を感じたことがあるというものです。

配偶者・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等 女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものです。

たとえ家族間の問題であっても許されません。

山形市の取り組み (平成26年度予定)

市役所 11月17日~21日 1階エントランスホール

- ・DV 防止啓発パネルの展示
- ・ビデオ上映
- ・ツリーへのパープルリボンの飾りつけ など

男女共同参画センター「ファースト」

- 11月12日~25日 4階交流フロア ほか
- ・ツリーへのパープルリボンの飾りつけ
- ・市立高校への出前講座の開催(予定) など

パープルリボンとは?



パープルリボン運動は、世界を子どもや暴力の被害者にとってより安全なものとすることを目的として、1994年、アメリカの近親姦やレイプのサバイバー(被害者・遺族など)によって生まれました。

紫色のリボンを身につけることで、パープルリボン運動への賛同を表明することができ、個人間の暴力や虐待に関心を呼び起こすとともに、暴力の下に身を置いている人々に勇気を与えようとの願いから、40か国以上

上に広がっている、草の根運動のシンボルです。

このような運動のシンボルとなっているリボンを、アウェアネスリボン(Awareness ribbon)と呼びます。

「Awareness」は「気づく」「認識する」の意味。つまり、認識・気づきのリボン。それぞれの色にメッセージが込められており、着用者がその運動に対してさりげない支援の声明を出す方法として使用されています。例えば...

●ピンクリボン=乳がんて悲しむ人をなくす運動

●オレンジリボン=子ども虐待防止運動

●レッドリボン=エイズの理解と支援

●グリーンリボン=移植医療の普及

あなたもパープルリボンを身につけたり、飾ったりして、「女性への暴力は絶対に許さない」気持ちを表してみませんか。

編集後記

古内さんのお話は尽きることなく、山形市の歴史や綿の歴史、ふとんの仕立て方まで幅広く興味深いことばかりでした。その中から「プチ・まちゼミ」としてご紹介します。

- ◎新品タオルは使う前に一度洗うと糸抜けしにくくなる。
- ◎綿ふとんは基本洗わなくてよい。綿には油分があるので、汚れは中まで浸透しない。
- ◎ふとん干しは綿がパサパサしてしまうので、多くても週一回。
- ◎羽毛ふとんを干す時は、ふとん地にキズがつくと羽が飛び出すので、カバーをかけて。(松本)

編集協力員

後藤 桂子
松本 千鶴子
鈴木 朋子

●「ふらな」は、ここで配布しています。市役所1階刊行物コーナー・市民課待合フロア・5階男女共同参画課、霞城セントラル内の市の施設、市の公民館、コミュニティセンター、市立図書館、男女共同参画センター「ファースト」
●「ふらな」は、インターネットでも見ることができます。(山形市HPで「ふらな」で検索してください。)
●「ふらな」を読んだご感想・ご意見などありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。

